



製造のアーキテクチャ図

で産業用マシンの接続を高速化する AWS



で産業用マシンの接続を高速化する AWS: 製造のアーキテクチャ図

Copyright © 2026 Amazon Web Services, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved.

Amazon の商標およびトレードドレスは Amazon 以外の製品およびサービスに使用することはできません。また、お客様に誤解を与える可能性がある形式で、または Amazon の信用を損なう形式で使用することもできません。Amazon が所有していないその他のすべての商標は Amazon との提携、関連、支援関係の有無にかかわらず、それら該当する所有者の資産です。

Table of Contents

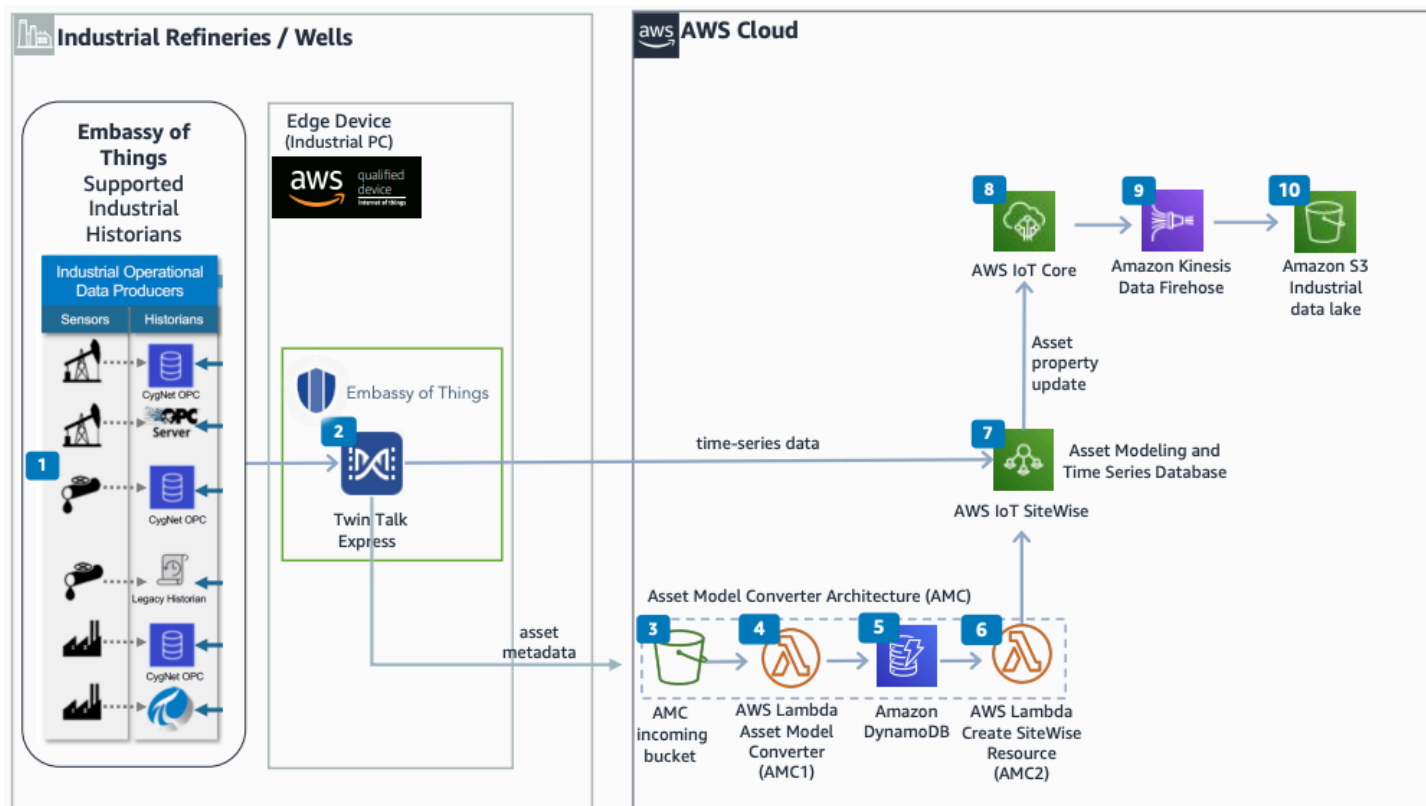
産業用マシンの接続	i
産業用マシンの接続アーキテクチャ図	1
詳細情報	2
図の履歴	2
.....	iv

で産業用マシンの接続を高速化する AWS

公開日: 2021 年 4 月 22 日 ([図の履歴](#))

このアーキテクチャでは、アセットモデルをプロビジョニングし、産業履歴、OPC サーバー、監視制御とデータ取得 (SCADA) プラットフォームからリアルタイムセンサーデータをに取り込むことができます[AWS IoT SiteWise](#)。Embassy of Things (EOT) Twin Talk Express データ共有プラットフォームを使用して、OSIsoft PI および CygNet SCADA システムに接続します。の詳細については Twin Talk、Embassy of Things ウェブサイトの [Twin Talk プラットフォーム](#) を参照してください。

産業用マシンの接続アーキテクチャ図



次の手順では、アーキテクチャについて説明します。

1. OSIsoft PI システム、レガシー履歴、CygNetSCADA プラットフォームは、産業用デバイスやセンサーからリアルタイムデータを収集します。
2. AWS 認定産業用 PC のEOTTwin Talkデータ管理プラットフォームは、サポートされている履歴からリアルタイムのセンサーデータとアセットモデルを取り込みます。

3. から強化されたデータは [Amazon S3](#) Twin Talkに送信され、[AWS Lambda](#)関数がトリガーされます。
4. Lambda 関数は、受信ファイルを AWS IoT SiteWise 互換性のある形式に正規化します。
5. アセットモデルと定義を [Amazon DynamoDB](#) に保存します。
6. DynamoDB Streams は Lambda 関数をトリガーして、アセットを作成および更新します AWS IoT SiteWise。
7. AWS IoT SiteWise は、受信データをフィルタリング、変換、処理します。プロパティの更新ごとに MQTT メッセージを [AWS IoT Core](#)に発行します。
8. AWS IoT Core ルールは、アセットプロパティの更新メッセージを [Amazon Data Firehose](#) に発行します。
9. Amazon Data Firehose は AWS IoT Core、 からデータをキャプチャし、変換して、Amazon S3 にデータを配信します。
10. データが Amazon S3 に入ると、ML およびサードパーティーアプリケーションはデータをレポート、分析、モデルトレーニングに使用できます。

詳細情報

詳細については、次のリソースを参照してください。

- [AWS アーキテクチャアイコン](#)
- [AWS アーキテクチャセンター](#)
- [AWS Well-Architected](#)
- AWS ウェブサイトの[産業用マシン接続クイックスタート](#)
- [での製造 AWS](#)

図の履歴

このリファレンスアーキテクチャ図の更新について通知を受け取るには、RSS フィードをサブスクライブします。

変更	説明	日付
初版発行	リファレンスアーキテクチャ図が最初に公開されました。	2021 年 4 月 22 日

RSS サブスクリプション

RSS の更新をサブスクライブするには、使用しているブラウザで RSS プラグインを有効にする必要があります。

翻訳は機械翻訳により提供されています。提供された翻訳内容と英語版の間で齟齬、不一致または矛盾がある場合、英語版が優先します。